



# 石城農民の

## 生活を改善

### 男女青年團を中心に

#### 衣服食物を改良せん

農家の自覚に俟つて石城の農業が實行組合等の組織により漸次粗放から集約に進歩しつつある事は喜ぶべき現象であり苦悶その型は農業經營の根本原則と相合するに至つたものであるが然し農業型のみが改革になつたとしても經濟的に農家が恵まれるに至らぬにおいては何等の益する所ないもので當局者はこの點を慮り農家に副業の奨励をなして經濟的緩和を計るべく意を用ひて居るが農家の經濟力を充たす上に於

## 早くも平商が

### 就職運動開始

#### 來春卒業生に就き

#### 夫々個性調査

平商業學校長矢野泰次郎氏は今春卒業生の就職運動奏効せるに力を得來春卒業生の就職に就いても來學期早々各方面に向つて運動を開始する事になり目下擔任教諭は夏休中にも拘らず卒業生四十名の性質、表現、技能、趣味、運動、思想、知識、長所、短所等の個性調

## 匡救事業

### 來月上旬頃

#### 本格的に

本縣土木課の栗原技師は

内各町村の本年度匡救事業工事箇所及び來年度繼續事業等に就いて去る五日より調査中であつたが昨七日一先づ調査を終了歸郷したが匡救工事の本格的着工は來月上旬頃からである

## 高麗橋が

### 諸車の通行禁止

#### 腐朽して危険甚しく

平町八幡小路地内の高麗橋は近來腐朽甚だしく匡救事業としての架換を縣に申請中であつたが却下されその儘となつて居た處最近車馬の交通に危険を感ずるに至つた爲め五日より諸車の通行を禁じたが町當局では工事財源に頭を痛めて居る

## 園藝部の收穫で

### 割烹部が自給自足

#### 磐女の實習が好成績

磐城高等女學校では園藝科を設け三年生に對し各種作物の栽培實習に當らしめ割烹部の自給自足に備へてゐるが今年度の收穫はトマト二十五貫匁を始め馬鈴薯、茄子、南瓜等約三十三圓に達し頗る良成績であつたと

## 社會教育委員

### 石城

郡大野村及び上遠野村の左記廿氏は今回縣社會教育委員を囑託された

(大野村) 鈴木水名光 小林豊廣 酒井銀平 早川

## 海邊の便り

### 第五信

今朝からは起床六時で皆大喜です、今までは夜はなかなか眠れないし、朝は早く目がさめたが、毎日の疲で寝付も早くぐつぐつと寝込んで頭を出して正體を失つて寝てゐる人も、多くなつた様です。

今日は舊十五日で潮が一番干ける日なそうです、一同は大急ぎで朝食をいたゞいて濱に出ました、もう濱は人々で大賑ひです。

はるか遠方迄潮が干け貝くらげ、うに、ひとで、海牛等拾ふのに夢中です、稍過ぎて集合の合圖で一同はこれから泳の試験です

上川先生の指揮のもとに一人づつ試されるのですから泳げない人は小さくなつて悲觀してあります、見物人も大勢集り熱心に應援して下さいます。

クローラ泳、抜手……等々鮮やかなホームを示しながら盛會裡に終了しました、特に泳げない人には親切に而も順序よく教へて下され、どうやら浮く様になりました。

皆大喜びで腕に自信がつかれたのか寒さも忘れて盛んに飛び込みます、お午になつたので残念ながら引上げ美しい刺身に舌鼓を打ちました。

午後はおんなに晴れてゐた空が急に雲り小雨さへ降りました。皆残念がつて空模様を氣遣ひ乍ら午睡に入ります、やがて目が覺て見るとどうやら差支ないので一行は海岸に出ました、濱も今は満潮で一ぱいです。

## 醫

診療科目  
 ○内臓外科 ○整形外科  
 ○脳外科 ○皮膚科  
 ○婦人外科 ○性病科  
 ○一般外科

## 諸橋外科醫院

醫學博士 諸橋 鐵彌  
 平町新川町廿七(電話四六四)

## 開

入院室 完 備  
 手術室 完 備

## 業

## 耳鼻咽喉科専門

醫學士 鈴木 正男  
 平町田町(電話五八番)  
 藤田女學校前

## 齒科口腔外科

日本齒科醫學士 鈴木 喜政  
 内郷村高坂磐炭病院前

## 鈴木醫院

(入院需めに應ず)  
 (自炊の便あり)

## 耳鼻咽喉科専門

## 氣管食道科

平南町(電話一七〇番)

## 和田醫院

# 立秋のけふ

## 騰つた銀柱

### 動けば直ぐ汗

やりきれません此アツさ  
けふから立秋であるといふのに少しでも動いたら急ぐ汗だ、殺人的酷暑は依然として變り無い、肌ぬき位で納まるあつさでない、朝真白だつたハンケチがお晝頃になつたら鼠色になるお太鼓なにか背負つた娘サンこそ災難だろう、おし氣もなく冷たい水でオムツのお洗濯をするアツバツ姿の山の神こそ實に羨ましい。實にあついですな

# 熱辯の人

## 高橋代議士來郡

### 今晚赤坂氏の爲め獅子吼

赤坂龜次郎翁後援の爲め政友會本部より代議士高橋熊次郎氏來平された爲め本八日好間、湯本、内郷、平町等に於いて政談演説會を開く事となつたが平町の會場は第三小學校講堂、時間は午後六時から高橋代議士の外に候補者、佐藤、鈴木

# 木炭組合の

## 徴収金横領

### 發覺して平署へ

石城郡神谷村大字下片寄字袋門六九片寄清多(五)は昨年十二月申濱三郡木炭同業組合より組合員の賦課金徴

# 無免許で

## 娼妓周旋

石城郡湯本町字向田居住佐藤政五郎(五)は無免許であるに拘らず昨年十二月十三日磐崎村小野田岩鑛抗夫山田庄平三女マヌ(二)を埼玉縣方面に娼妓に周旋したの

# 悲觀の矢先に

## 船大工申込

平職業紹介所では最近の紹介成績は夏枯れ時期の爲め振はず求人求職共に一日一二件と云ふ有様なので悲觀して居た矢先本日岩手縣

# お歸りを

## 云はれて大憤慨

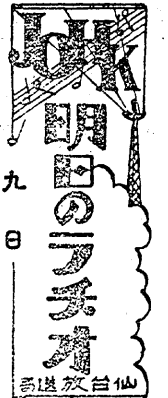
### 女將を引摺り出して殴る

平町紺屋町居住魚行商人鈴木賢壽(四)は去月廿二日大工町一七飲食店恵比壽屋事

# 山林盗伐

## 江名で發覺

石城郡江名町字中の作字橋戸居住大工福地正守(三)及び白龍元(三)の兩名は去る五日同町字永崎小松孝一郎



今夜は北東の風驟  
雨氣味明日は北西の風晴

# 今晚の部

前六、〇〇 子供の時間  
お話「一週間で出来る水泳」矢津春男  
後六、二五 (東北北海道) 産業講座「馬産の資源地としての東北と北海道」佐藤退三  
後七、三〇 講演「笹花平」後八、〇〇 清元「笹花平

# 鹿島村長負傷す

## 乗合自動車に轉覆して

平田町野崎自動車部の乗合自動車が昨日午後二時頃小名濱町よりの歸途鹿島村地内に於て荷馬車と衝突轉覆し乗合せた鹿島村長鈴木大藏氏が負傷し直ちに小名濱町中村醫院に入院加療中であるが重態である

# 農村の行詰りを

## 物語る競賣執行

平區裁判所に於ける去る一月以降本日迄の競賣申立受理件数は二百十件であるが此の内債務を辨済して取下げたもの七十件、未済が三十六件で残りの百四十四件は全部執行済である尙競賣執行されたのは何れも農家にて如何に農村が債務の爲めに行詰つて居るかを如實に物語つて居る

# 明日の部

前六、三〇 夏期佛語講座 (八) 井上源次郎  
前七、三〇 夏期英語講座 (八) 鈴木得二  
後九、一〇 料理獻立「鮑料理二種」小野やす子  
前一〇、二〇 野球試合實況 第七回都市對抗野球大會  
前一〇、三〇 家庭講座  
後〇、〇五 滿洲より  
後二、〇〇 夏期講習「長唄のお稽古」八 唄杵家七代 三味線杵家彌七  
後三、二〇 防空情報

# 尼子祭禮

## 今晚宵祭

平長橋町尼子稻荷神社及び北野天満宮の宵祭は本八日執行されるが餘興として舞踊劇等があると

# 平町人事

回出生  
△南町一九 長谷川鐵重氏  
長男勝英  
△舊城跡二〇 鈴木菊彌氏  
二男英長  
△四丁目五八 渡邊公氏長女洋子  
回婚  
△南町一九 長谷川鐵重氏 (二七) 石城郡飯野村字長尾一〇 岩崎ミツ(二二)

# 平職業紹介所報告

回人を求める方  
△小役員 十五才 尋卒  
給料面談(平町某)  
△雑夫 三十迄 月十圓外  
面談(四倉町某)  
△留守番 三十五以上 尋卒  
月五圓(双葉郡某)  
△指物徒弟 十六才 尋卒  
仕着小遣(平町某)  
回職を求める方  
△事務員 二十四才 中三  
修 給料面談(内郷村某)  
△集金員 二十五才 高卒  
給料面談(内郷村某)  
△商店雑役 二十五才 高卒  
給料面談(湯本町某)  
△女中 三十一才 尋三修  
給料面談(平町某)





【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演  
山本英春畫

第十回 血に飢ゆる村正

逸つてはいけぬ  
村正は名主の案内で庭へ廻つて來ると、時々御領主がお出でになるから上段の間が出来てゐる。正面に御嶽左衛門尉時義、右左に御家臣が居流れて居ります。

名「エ、恐れながら召連れまされたのが刀鍛冶村正にござります」と名主から申上げる。太守は至極御機嫌の體にて

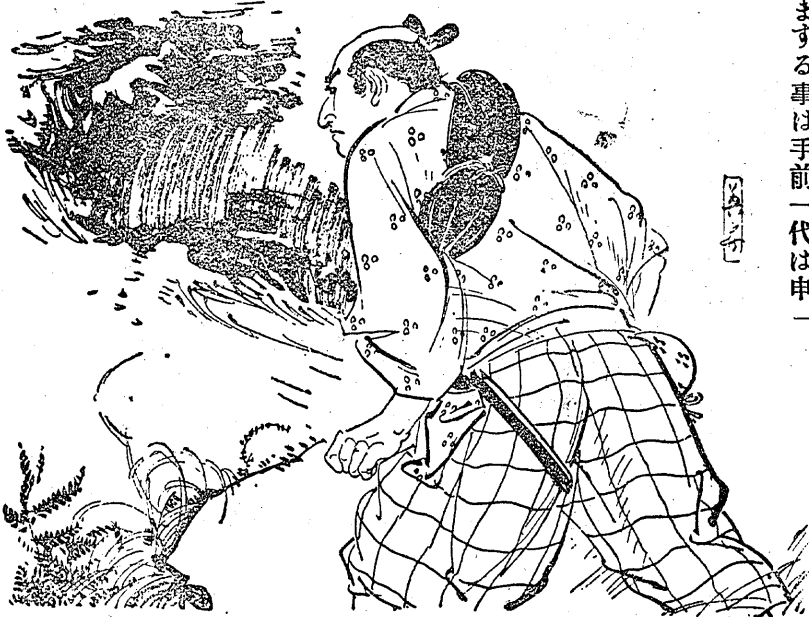
時「コリヤ村正と申すか苦しうない面を上げい」  
村「ハッ」と村正は恐る／＼面を上げると

時「其方が一心こめて鍛へ遣はし名劍の功徳に依つて太惣治が首尾よく群々を退治致し、諸人の難儀を救ふ事が出来た。當國の領主たる御嶽左衛門其方に厚く禮を申すぞ」村正餘りの有難さに思はず嬉し涙を流し

村「私如き者の鍛へましたる劍には中々夫ほどの功徳はございませぬ。偏に諸天番神が當國を守護遊ばされ又殿様のいや高きお徳による處でございませう」誠に謙遜した言葉に太守も満足に思召され

時「其方は名も高き正宗の高弟の由であるが、天

名鍛冶である、所望致す予の爲に一口の太刀を鍛へ呉れよ」  
村「委細長まり奉ります。勇名高き殿様の御太刀を鍛へまする事は手前一代は申



治の女房は嬉し涙に暮れたのも道理、其の夜村内の者が大勢喜びに來て祝宴を開きました。夫より村正は再び精進潔齋して一口の太刀を鍛へて御領主に献上する時義殿大に喜ばれて

内の人一同にも別れを告げて、愈々御嶽の山村を出立する事になりました。村人一同別れを惜しんで途中まで送つて参りましたが、折りがあつたら重ねて訪れるといふ約束をして一同と袂を別れ御嶽を下りまして中仙道を上つて來る途中別段に申上げる事もなく、宮の里の先に越川といふ川がある、その河原まで來たのがもう日の暮時、ふと見ると一人の若者が小石を拾つて袂に入れ頻りに手を合せて何か拜んでゐる。

村「ハテナ身投げでもあるか如何なる理由か知らんが年若の無分別に違ひない、助けてやらうとソツと足音を忍ばして來ると果せる哉彼の若者は身を躍らして川へ飛込もうとしたから、やにわに村正が抱き止めて

すに及ばず、子孫までの名譽にございませう」とお受けを致して村正は御盃を賜はり、上々首尾で御前を退り太惣治に對面して其の無事を祝し連れ立つて家へ立ち戻りました。迎も生きては人の無事な顔を見て、太惣

此の上もありませぬ。太惣治が群々を退治致した劍は鎮守の八幡宮へ納め、なほ村正の劍の不思議を認めたる額を奉納致しました。村正暫らく太惣治の處に居りましたが、何時まで此處にゐた處で仕様がなから太惣次夫婦に厚く禮を述べ村

村「モシ／＼さう逸まつてはいけませんどういふ譯か一通りお話しなさい。成程之は無理もないと思へば見えて見ぬ態もして行きますが俗に申す三人寄れば文珠の智慧、御自分には思案にあまる事でも又他人から見れば夫ほどでもない場合が幾らもありませぬ。無駄と思つて一通り私にお話しなさい死ぬのは何時でも死ねますそ

花柳外科 木村外科醫院  
門專科病柳花外  
院醫科外村木  
際橋目丁五町平電  
〇九三話

看護婦急派  
の求めに應  
じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

吸入用酸素度純99%  
度量衡  
モノサシ  
マス  
ハカリ  
体温器  
寒暖計  
關内藥局  
電話四〇番  
寫真材料一式販賣致シマス  
磐城セメント會社特約店  
磐城平町五丁目 電話九番九九番

久全屋商店  
磐城平町五丁目 電話九番九九番  
良品廉賣に勝る商略なし  
確實敏捷は久の生命なり  
吉田眼科病院  
平町南町、電話六八番

難波陸  
内科一般  
醫學博士  
平町大町新川端  
電話五〇二